

# 地震、災害時における児童の引き渡しと待機（マニュアル）

H30. 7

香川大学教育学部附属坂出小学校  
校長 小西 憲一

## 1 引き渡しの判断

＜地震時＞（以下の基準で判断するので、確認をお願いします。メール配信でも連絡しますが、不通・遅延が予想されます。）

- 学校を含む地域の震度が5弱以上のとき

保護者が引き取りに来るまで学校で待機させます。この場合、時間がかかっても保護者が引き取りに来るまでは、児童を学校で保護しますので、道路等の安全を確認の上、気を付けて来校してください。なお、被害状況によっては、保護者が引き取りに来てても、児童といっしょに学校に留まる場合があります。

- 学校を含む地域の震度が4以下のとき

原則として、通常通りの時刻に自力で下校させます。交通機関に混乱が生じた場合、学校で待機させ、復旧又は保護者の引き取りを待ちます。

＜大雨等の災害時＞（メール配信で連絡します。）

- 授業時に警報が発令されたとき、または、発令が予想されるとき

例えば、以下のようなメールを配信し、保護者に下校の仕方を選択していただきます。

坂出市に大雨警報が発令されましたので、10：30に下校します。なお、JRの多度津～観音寺間、琴参バスの王越線は運転を見合せ中です。迎えの場合は、車で守衛室横の通用門から体育館前まで入って構いません。緊急時以外は、学校への電話をしないようにお願いします。

それでは、下記からお子さんの下校の仕方を選択し、最後に回答ボタンを押してください。

- 自力で下校させる
- 10：30～11：00に迎えに行く
- 11：00～12：00に迎えに行く
- その他（コメント欄に）

※ 児童を引き取りに来る場合は、自宅や経路の安全確認後に来てください。水害、土砂災害等被害の状況によっては、引き渡さず保護者と共に学校に留まることも考えられます。

## 2 引き渡しの手順

- 集合

① 荷物、下靴、かさ等を持って体育館に入ります。

（自力下校の児童は、全校生名簿にチェックして帰させます。）

② 北向きに各学級1列で、出席番号順に並びます。

（場合によっては、兄弟同士がいっしょに待つこともあります。）

- 保護者の誘導

① 守衛室横の通用門から車が入り、図のような進路をとるようア、イの教員が誘導します。

※混雑時には、管理職が判断し、運動場も引き渡し場所とする。その際、運動場から東門から出る車は、右折し坂高と附坂中の間の道へ出るようにする。東門で教員が誘導する。

② ウの教員が保護者に児童の学級と氏名を確認し、大声（トランシーバーが使える場合はア・ウ・エ、体育館マイクが使える場合はウで使用）でエの教員に知らせ、車を体育館前に誘導します。

③ エの学年主任が児童に尋ねながら、保護者または家族、親戚等と確認できた場合は、引き渡します。この時、地震の際には、帰宅後の連絡先を確認し、自宅以外の場合は聞き取り、学年主任

がメモします。

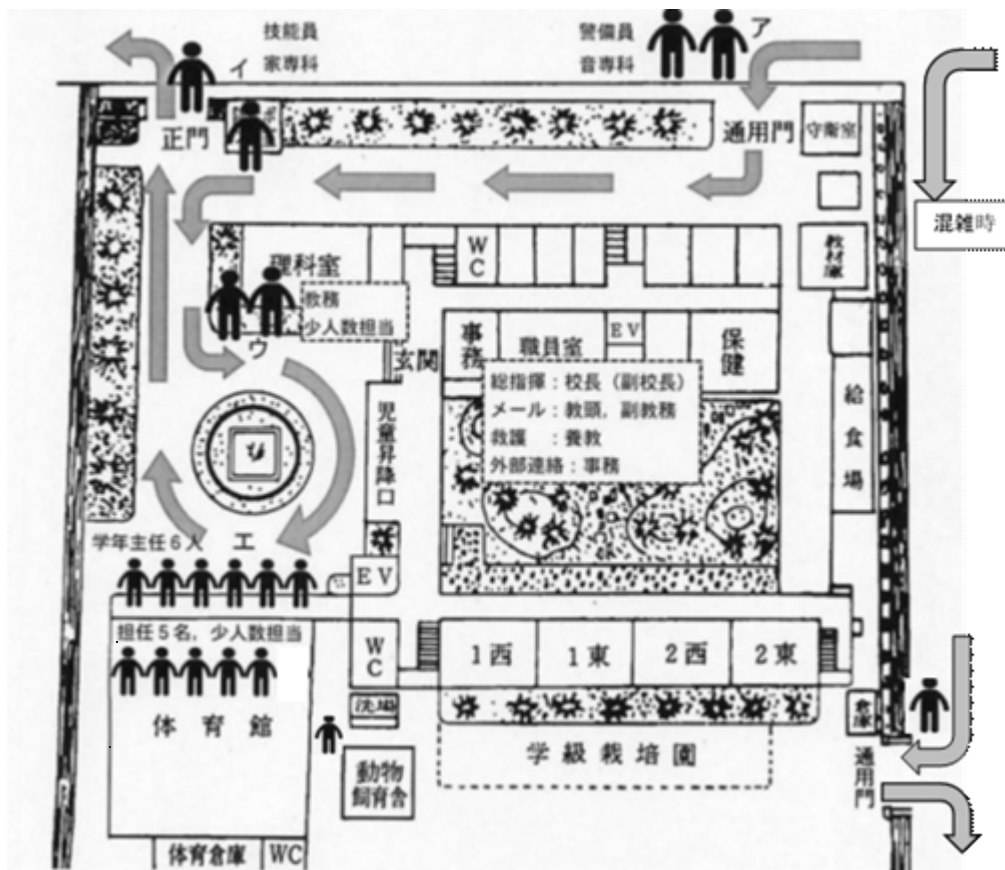
(児童が保護者等であることを認めない場合は、引き渡しません。)

#### ○ 情報

① 保護者の項目選択やコメントを学級毎に印刷して、担任教員に渡します。また、同様のものを体育館にも貼っておき、下校の仕方が分かるようにします。(メール不通時はしません。)

② 地震の際には、体育館ピロティに全校生名簿を貼っておき、学年主任は、下校した児童について全校生名簿にチェックを入れ、自宅以外の連絡先の場合は記入します。

<保護者の車の誘導経路，教員配置>



### 3 学校に待機させる場合の留意点

○ 津波警報発令時には、南校舎3階，北校舎3階・4階に移動して待機します。危険ですので、迎えに来ないでください。なお、自宅が危険箇所にある場合は、ご家族も学校へ避難し、児童といっしょに過ごして構いません。

○ 長時間の待機が考えられる場合，食料の確保や宿泊の対応をします。(児童1人当たり水1L，乾パン110gは常備しています。また，アルミ毛布800枚と簡易トイレ15000回分を保管しています。)

○ 不安を訴える児童のために，心のケアができるようスクールカウンセラーや学校医などと連絡がとれるようにしておきます。

### 4 その他

○ 登下校時に災害に遭うことも予想されます。毎年5月に配布し，親子で確認している「ぼくわたしのひなん術」を目のつくところに貼っておき，常日頃から命を守ることを意識付けてください。